授業科目名・形態	母性とセクシュアリティ　　講義	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	岩間　薫・工藤　優子	実務経験の有無	有	開講期	１年後期
科目ナンバリング	N5-1005npmht				

【授業の主題】

母性とはなにか、母性をめぐる多様な定義を理解し、母性の捉え方について学ぶ。性とセクシュアリティの意味と概念を理解し、多様な性のあり方について学ぶ。 女性のライフステージが多様化する中、子どもを生み育てることを選択した女性に生じる問題（遺伝・不妊・生殖補助医療・出生前診断）や対象者の自己決定権を支援する看護と倫理について学ぶ。

【到達目標】

1. 母性の意味と概念を理解する。
2. 性とセクシュアリティの意味と概念を理解する。
3. 性の健康について理解する。
4. 女性に生じる問題（遺伝・不妊）や対象者の自己決定権を支援する看護と倫理について理解する。

【授業計画・内容】

第１回　母性とは（１）　(岩間)
第２回　母性とは（２）　(岩間)
第３回　母性をめぐる多様な定義、母性の発達・成熟・継承（１）、母子関係と家族発達（１）　(岩間)
第４回　母性の発達・成熟・継承（２）、母子関係と家族発達（２）、
　　リプロダクティブ・ヘルス／ライツ　(岩間)
第５回　性とセクシュアリティ、医療看護とセクシュアリティ　(岩間)
第６回　性の健康とセクシャリティ、女性のライフサイクルにおける形態・機能の変化　(岩間)
第７回　母性看護と倫理問題①：遺伝・不妊・生殖医療　(工藤)
第８回　母性看護と倫理問題②：出生前診断　(工藤)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。
第１・２回　グループワーク：課題を提示してディスカッション、資料作成、その後発表してもらいます。

【事前・事後学習】

課題学習、試験対策等を含めトータル 30 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、母性看護学概論、母性看護方法論Ⅰ、母性看護方法論Ⅱ、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［1］母性看護学概論　(医学書院)
系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［2］母性看護学各論　(医学書院)
資料配付

【参考文献】

適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 90%（岩間 85%・工藤 15%）、授業への取り組み姿勢・提出物等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。

実務経験から得た母性看護における知識や技術を妊産褥婦および新生児の看護や援助等を行うための授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

「母性とは？」今まで、考えてみたことはありますか？
母性看護の対象理解につながる基本的な概念、性やセクシュアリティについて一緒に考えていきましょう。